

1 単元 黒船の来航で、世の中はどう変わったの
～佐賀藩の英雄をさぐる～

2 教材化にあたって

本単元は、幕末から明治時代初期にかけて活躍した佐賀の七賢人を通し、当時の日本社会の変化を理解することをねらいとしている。また、この時期を通史した後、佐賀の七賢人に着目させ、賢人の働きを調べまとめることで、日本社会の移り変わりをつかませたいと考えている。

3 単元目標

- 幕末から明治時代初期についてのできごとや、佐賀の七賢人について進んで調べる。
(関心・意欲・態度)
- 明治政府の政策とそれにかかわる人物や日本社会の変化について考えることができる。
(社会的な思考・判断)
- 幕末から明治時代初期における出来事や活躍した人物について調べることができる。
(資料活用能力)
- 幕末から明治時代初期における日本社会の変化がわかる。
(知識・理解)

4 単元計画 (全7時間)

学習過程	主な学習活動	時配
つかむ	黒船来航で、日本はどのように変わったのだろうか。	1
	・幕末期の出来事を調べることで、日本社会の変化の兆しに気づく。 ・明治時代になり、新しい日本の国づくりを調べる。 ・明治維新に活躍した佐賀の七賢人について考える。	1
	・明治政府の政策と日本の社会の変化について考えることで、それにかかわる佐賀の七賢人が活躍したことに問題意識を持つ。	1
しらべる	佐賀藩の英雄をさぐる ・佐賀の七賢人について調べる ・佐賀城本丸歴史館を見学し、鍋島直正を手がかりに、日本社会の変化について調べる。	2
まとめる	・佐賀の七賢人について英雄カード作り、七賢人が新しい日本の国づくりに貢献したことについてまとめる。 ・日本社会の変化について考えをまとめる。	2 本時 (6,7/7)

5 本時（6, 7 / 7）の授業

（1）本時の目標

佐賀の七賢人から1人を取り上げ、その人物の活躍したことをまとめることができる。

（知識・理解）

日本社会の変化について自分の考えを持つことができる。

（社会的な思考・判断）

（2）本時の展開

主な学習活動	教師の働きかけ	備考									
1. 見学して調べたことをふり返る。 ・本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">佐賀藩の英雄カードを作ろう</div> 2. 英雄カードを作る。 <英雄カード> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <td style="border: 2px solid black; padding: 5px;">人物名</td> <td rowspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px; vertical-align: middle;">人物画</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">活躍した時期</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">活躍したこと (どのように社会を変えたのか)</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">人物を選んだ理由</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">人物の魅力</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">関わりのある人物</td> </tr> </table> </div>	人物名	人物画	活躍した時期	活躍したこと (どのように社会を変えたのか)	人物を選んだ理由	人物の魅力		関わりのある人物		調べ学習のメモを読ませ、本時の学習の共通しを持たせる。 副読本を参考にさせる。 (『わたしたちの佐賀県』 P64～67) 固定されたレイアウトに沿って、人物カードを作るように告げる。 「活躍したこと」や「人物を選んだ理由」などは箇条書きなどを利用して、見やすくなるように促す。 「活躍したこと」は社会の変化と関わるように書かせる。 (例)・・したことで、日本は～になった。 カードは複数枚作るよう促す。 作品の良さを中心に説明させる。 考える観点を提示し、観点に沿った自分の考えを出させる。 自分の考えが出ない子には、既習した子をふり返らせ、活躍した人物の偉業や当時の様子の印象などの感想を基に考えさせる。 学習したことによる自分の考えを、歴史用語等を用いて説明するように書かせる。	教科書 P 70 ～ 81 副読本 ワークシート (感想用)
人物名	人物画										
活躍した時期											
活躍したこと (どのように社会を変えたのか)	人物を選んだ理由										
人物の魅力											
関わりのある人物											
3. 黒板に掲示し、発表をする ・完成した子同士で作品の紹介をする。 4. 日本社会の変化について自分の考えを持つ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <考える観点> ・英雄の貢献と日本社会の変化について。 ・日本社会全体における変化について。 ・民衆や武士などの立場に立って見た、日本社会の変化について。 </div>											

（3）本時の評価

評価規準	佐賀の七賢人から1人を取り上げ、その人物の活躍したことをまとめることができる。 (知識・理解)		
評価規準	A	B	C (Bに未達成)
Cへの支援	活躍したことと社会の変化を関連づけて説明できる。	活躍したことを説明することができる。	友達の作品を参考にさせる。
評価方法	ワークシート		
評価規準	日本社会の変化について自分の考えを持つことができる。(社会的な思考・判断)		
評価規準	A	B	C (Bに未達成)
Cへの支援	2つ以上の観点から考えを持つことができる。	1つの観点から考えを持つことができる。	既習したことの感想を基に考えさせる。
評価方法	ワークシート		